

社会福祉法人 宮城厚生福祉会
介護老人福祉施設「十符・風の音」

風ぐるま

2014.12 No. 30



各委員会の取り組みをご紹介します

食事委員会

「食事」は生活する上で欠かせないもので楽しみのひとつでもあります。私たち食事委員会は「ひとりひとりに豊かな食生活を」を目標においしく楽しい食事を目指して活動を行っています。

今年は就労支援事業所の「てとて古川」からお弁当宅配をしていただき、色鮮やかで普段とは少し違う食事を楽しんでいただきました。11月には皆さんに好きなものを召し上がっていただけるようおやつバイキングを計画しています。

また、来年は食事提供くださっているセントラルキッチンから講師を招き、おいしい食事の温め方について勉強会を行う予定です。

これからも毎日の食事をおいしく召し上がっていただけるよう話し合いを行い、検討していきたいと思っております。



ボランティア委員会

ボランティア理念周知徹底の為に全職員に向けての勉強会を行っています。葉山清掃や廃品回収、夏祭り等地域活動への参加呼びかけ、風の音便りの発刊も行っています。秋にはボランティア交流会を行い、鳴子へこけしの絵付け体験、紅葉ドライブに出かけています。



安全衛生委員会

職員の働きやすい職場をモットーに、セルフチェックのアンケートの実施や、各部署の残業時間・内容の見直し、新人職員の面談の計画を行ってきた他に、職場内の職員関係を良好に保つために、すころくを使ったコミュニケーションの勉強会も開催しました。初めての試みとして、コーヒーを飲みながらのカフェ風な勉強会となりました。今後も全職員が「風の音は働きやすい!」と感ずることができるような環境作りに努めていきたいと思っております。



事故対策委員会

今年度も、3つのチームを核としています。ヒヤリ集計や事故集計を行い、全体で周知徹底して事故を予防しています。捜索は、捜索訓練を開催しています。

行方不明者が出る事故がありました。訓練による備えもあり、迅速に捜索を行い早期発見につながっています。リスクマネジメントは、ヒヤリ集計や事故集計から事故の分析を行います。身体拘束は、事故の定義を確認し日ごとの生活の中で自由を奪っていないか等を検討しながら行っています。



広報委員会

広報委員会は主に施設の行事や勉強会などの活動を、地域の方やご家族の皆様知って頂く為、年4回の広報誌発行を目標に作成しています。

こういった活動をしているか分かりやすく写真やデザインにこだわりながら、皆さん楽しんで頂けるよう、委員が中心に日々ネタ集めに翻弄しています。

委員も楽しんで作る!これがモットーです。



感染症褥瘡予防委員会

私たち感染症褥瘡予防委員会は、主に感染グループと褥瘡グループに分かれ活動を行っています。

内容は、インフルエンザやノロウィルスの勉強会、注意喚起、ベッドモーター、マットレスの検討などです。

目標として感染症グループは職員が媒介者にならないように、褥瘡グループではリスクの高い方を把握すること、共に施設内での「感染症・褥瘡ゼロ」を目指し皆様に快適に過ごして頂けるよう今後も頑張っていきます。



風社保の取り組み(風の音社会保障委員会)

福祉ウェブの取組みについて

社会保障委員会 佐々木 隆行

11月9日(日)14:00~15:00の1時間、フォーラス前で「福祉ウェブ」を行いました。2009年より毎年行っている法人、労働組合等関係団体が結集して、介護・保育職員の処遇改善と制度改正を求める街頭宣伝・署名行動です。今年は雨にもかかわらず、介護職員55名、保育職員57名が参加し、道行く人に署名とマイクアピールを行いました。1時間の行動で介護署名200筆、保育署名300筆超を集めることができました。

初めて参加した職員からは「若い人たちが話を聞いてくれて、署名してくれました。」「プラカードを見て、近づいてくれる人がいました。」「制度について上手く伝えることの難しさを感じました。」など、慣れない行動の中でも手応えを感じていました。

改めて法人理念の立場からも、利用者様の生活を守る立場からも重要な行動であり、また新たな担い手の成長も感じることでした。



沖縄県知事選挙支援行動

社会保障委員会 三戸部 裕之

10月30日から11月3日までの日程で、沖縄県知事選挙支援行動に行ってきました。今回が初めての選挙支援でしたが、ハンドマイク宣伝や全戸配布を行いました。活動しながら、地元の方との対話も行うことが出来、とても勉強になりました。特に、選挙の争点になっている米軍基地問題についての訴えを行うと、「私もそう思う」「頑張ってください」と声を掛けてくださる方がとても多く、米軍基地問題の根の深さと、平和に対する思いの強さを感じることが出来ました。今回の選挙は、沖縄だけではなく日本の平和に関しても重要な意味を持つ選挙だと感じました。今回の経験を、今後の社会保障活動に活かしていければと思います。



10周年記念シリーズ企画

Vol.3

前回に引き続き海和法人事務局長（前施設長）の思い出を伺いました。

Q 「介護の仕事」を通して心に残ったエピソードを教えてください。

A 日本には言葉という考え方がありません。霊的な意味もあるようですが、言葉のもつ力かなと考えています。施設の中で「ありがとう」という言葉は様々な場面で交わされます。入居者が亡くなった後の職員「振り返り」の中で、職員が「うちの施設にいてくれてありがとう」「いろいろ教えてくれてありがとう」「思い出をありがとう」という涙ながらのその言葉聞いた時、介護の困難に直面しつつも最後に「ありがとう」と言える人としての関係性を構築している職員に感動しました。当たり前ですが、も知れませんが。



風ぐるまの施設

施設の暮らしの中での出来事、苦労や困難、楽しい時、笑った時、「ひとつ、ひとつのこと」が積み重なってできたこの職員の「ありがとう」の言葉の「力強さ、優しさ」に感動し、またここで働く職員の今後の決意にも聞こえました。何かが宿った言葉には伝える力があるということでしょうか。

安全運転勉強会



10月8日、損保ジャパン日本興亜の方を講師に、安全運転の学習会を行いました。冬道運転の注意点や、実際に事故が起きてしまった場合の対応などを学びました。これからも利用者様の安全のため、安全運転を心掛けていきます。

感染症勉強会



10月29日、感染症についての勉強会を行いました。感染症が流行りだす前の備えとして、感染症を持ち込まない・持ち出さないために職員が知識として押さえておきたいインフルエンザ・ノロウイルスを中心に学習しています。

避難訓練



10月14日に、避難訓練を行いました。今回の訓練は、夜間に火災が発生した想定で行いました。普段よりも少ない人数での避難誘導になりましたが、火元に近い居室の入居者様から避難していただくよう、職員同士、声を掛けあいながら真剣な表情で取り組んでおります。

ベガ号

「星を見る会&演奏会」

11月4日、仙台市天文台より移動望遠鏡を搭載した「ベガ号」が風の音に来てくださいました。天文台の職員さんから説明を受け、入居者様に順番に望遠鏡をのぞいていただきました。待ってくださっている方々には、職員によるギター演奏を楽しんでいただきました。天気も良く、楽しんで頂けた様子でした。



居宅からのお知らせ

サービス利用、福祉用具購入や住宅改修等、介護についてご相談ください。

問い合わせ先 022-349-0533

担当 近藤

編集後記

師走に入り、ますますご多忙のことと存じあげます。寒さも厳しくなり、体に気を付けてお過ごしください。今年も皆様のご協力もあり楽しく一年になりました。ありがとうございました！
来年も十符・風の音をよろしく願います。

広報委員

渡辺由美／高橋 彩／三戸部裕之
松浦康子／小濱絵美子
山田たまき／佐藤大樹